

ポンポコ新聞

[Ponpoko News]

第69号



=発行=

2018年8月26日

喜多見ポンポコ会議

<http://ponpoko.jp>

仕事内容

以下の写真提供：
小田急電鉄



検車区／ドアやブレーキなどの日常的な車両の整備や検査、清掃を行うところです。電車のトラブルが起きた時に対応が必要になるため、整備士は24時間体制、たとえば早番は、3時半ごろに起床し、始発電車が車庫から営業線へ出ていくための準備作業を行っています。

電車区／電車の運転士さんが出勤し、宿泊や休憩をするところです。運転士さんは出勤すると、基本的にその日は泊まり勤務になり、最終乗務地の駅または電車区で仮眠をとり、次の日は半日程度勤務した後、帰宅します。

車掌区／電車の扉の開閉や車内アナウンスなどを担当する車掌さんが勤務するところです。勤務形態は運転士と同じです。

電気システム管理所／変電所や架線、信号機や踏切、エレベーター、エスカレーターなどの点検や整備を担当しています。電車を安全かつ円滑に運行するため、日勤だけでなく夜勤もあります。

工務区／線路の保守や点検、整備を担当しています。列車の運行間合で可能な作業については日中に行うものもありますが、レール交換や大型重機械を用いた作業は終電から初電までの深夜に実施します。

喜多見電車基地 1994年3月開設。面積は6万8300㎡、研修センター（動力車操縦者養成所）を含め約7万1900㎡。車両の収容可能両数は約150両。



喜多見駅周辺で従業員らしき方々を見掛け、ず〜っと気になっていた電車基地について、小田急電鉄株式会社CSR・広報部の山口暢一さんにお話を伺いました。

5つの施設の集まり

喜多見電車基地の施設としては、車両を留置する線路のほか、**検車区、電車区、車掌区、電気システム管理所、工務区**という5つの施設があります。小田急電鉄では、従業員の所属する職場を「区」「所」と呼ぶ場合があります。

安全を守るために

喜多見電車区、喜多見車掌区で、異常時を想定した列車非常停止訓練、旅客避難誘導訓練なども行っています。また列車衝突などの事故が発生することはほとんどなくなりましたが、係員が対応・復旧作業を経験する機会が少なくなつたので、万が一、事故が発生しても対応できるような教育・訓練を実施しています。

喜多見に発電所が！

実は、喜多見電車基地をはじめとする周辺施設の屋上や屋根部分約8400㎡のスペースを活用した「喜多見発電所」を2014年2月から稼働しています。世田谷区内で最大規模の太陽光発電所です。毎年60万kWh以上を発電し販売しています。

中水を利用

喜多見検車区では、車両洗浄による排水を有効利用するために、中水（雑用水、上水と下水の中間に位置することから中水と言います）設備を設けています。この設備によって浄化された中水は、車両洗浄や電車基地の上にある「きたみふれあい広場」のトイレの洗浄用として再利用しています。

3月のダイヤ改正

喜多見駅利用者にとっては以前より時間が掛かるようになったと聞きます。恐る恐る山口さんに伺いますと、「これが最終形ではなく来年度ダイヤ改正する予定です」とのこと。

また、小学生と保護者対象のイベントを喜多見電車基地で行うところがあるそうです。一般向けのイベントもあるといいなあとタヌキが呟いていました。



電車基地で準備を終え成城始発のため出てきた準急我孫子行



喜多見駅側から見て、上空手前が基地へ入る線路、奥が出ていく線路

お疲れ様でした

牛山商店さん



かつての「にぎりやフードセンター」2001.11 撮影

喜多見1～7丁目と8・9丁目の間、世田谷通り沿いにあるマンション下の通路はかつて「にぎりやフードセンター」でした。当初からあった牛山商店さんが8月末で閉店すると聞き、ご主人の牛山武茂さんにお話を伺いました。

にぎりやフードセンター開設

「にぎりやフードセンター」は昭和37(1962)年3月にアーケードの商店街として開設。当初は世田谷通り側から見ると右側だけに7つの店舗が並んでいました。にぎりや酒店、田中菓子店、にぎりや青果店、佐久間精肉店、牛山お茶・のり店、電気屋、アサヒ薬局です。



世田谷通り側から(2001.11 撮影)

当時牛山さんは22歳、祖師ヶ谷大蔵駅前にある高橋茶舗でアルバイトをしていた素子さんと翌年に結婚。昭和39(1964)年には左側にも店舗ができることになり、角金鮮魚店が入り、牛山さんも履物店を加えました。店主はみな同年代で子ども達も店を手伝いました。

演歌のBGM

朝は「いってらっしゃーい」、夜は「おかえりなさーい」、時にはカラスのクロ(*)が「マイドゥモ」と声をかける、まるでタイムトンネルのような雰囲気を感じ上げていたのが演歌のBGMです。

実はこのBGM、牛山さんが用意したカセットテープやレコードと箱型スピーカーを使って流していたそうです(途中から有線放送を使用)。機材一式は喜多見西部町会の盆踊りでも使われました。

結婚式の引出物も

かつては氷川神社で結婚式をしたり砧区民会館(現・成城ホール)で披露宴をする方もおられ、その引出物を牛山商店さんが扱うこともあったそうです。

気がかり

お店に入ると「本の代金この中において下さい。おつり、お取り下さい」と書かれたトレーが目に入ります。雑誌類の会計はセルフサービスになっていて、常連の子ども達は自分でマンガ雑誌を取り会計して行きます。牛山さん、この子ども達はこれからどこで雑誌を買うのかが一番の気がかりのようでした。

* 牛山さんは狩猟免許を持っているので、傷ついた野鳥を保護することを目的に飼うことが認められています。

夏の野川ガサガサ

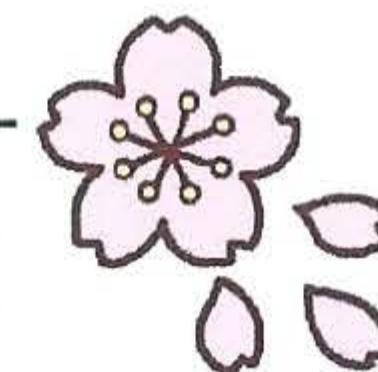
アユが獲れました！



アユが獲れた場所と玉網に入ったアユ

今年度の野川ガサガサは暑～い夏と寒～い冬は内輪で実施しています。8月19日(日)、夏の野川ガサガサ(生きもの調査&ごみ拾い)を行いました。4月の手直し工事後、悪臭も景観も改善しましたが、川の中の生きものはどうかと気になっていました。川に入ると色々な魚の群れが見えて、玉網を入れるとアユが獲れました！生きものにとっても良い環境になっているようです。

次世代のサクラを育てる



東京都の河床整備工事が上流へ進んでいます。6月23日(土)、野川多自然連絡会(ポンポコ・野川の会・ハケ森・鳥ボラと個人で構成)主催で神明橋上流にあるオオシマザクラの次世代を育てようとワークショップを行いました。樹木医の川瀬裕一郎さん指導のもと、①取り木＝環状に樹皮を剥き水苔で包んで発根を促し切り取る、②挿し木に挑戦しましたが、挿し木は成功率が極めて低いそうですが皆で持ち帰り育てています。

スポーツクライミングで活躍中

平野夏海さん

喜多見中学校出身の平野夏海さんが、8月5日のADIDAS ROCKSTARS TOKYOで優勝(9月の世界大会出場へ)、11～13日のJOCジュニアオリンピックカップ大会のユースAで優勝&総合優勝(アジアユース日本代表権獲得)、リード日本代表でワールドカップにも参戦しています！

INFORMATION

秋の野川ガサガサ

【日時】 9月29日(土)
ごみ拾い 9:30～10:00
生きもの調査 10:00～11:30
【持物】 川用の靴、あれば玉網・バケツ
【集合】 次大夫堀公園築山横の野川階段
【申込】 喜多見児童館 tel.3417-9151

緑を増やそう！
みどりの物々交換会

ご家庭で増えて困っている・余っている植物をお持ちください。欲しい方に無料で差し上げます。

【日時】 11月3日(祝) 9:30～11:30
持ち寄り受付は10:00まで
【場所】 区民まつり会場(喜多見小学校校庭の啓発コーナー)
【募集】 植物の苗や種、観葉植物もOK

※ できるだけ、植物の名前を書き添え、持ち帰りやすい形状でお持ちください。
※ ポンポコが提供する植物には竹山市民緑地の竹材で作る容器(竹ポット)を使用します。